

臨床検査技師の『基（もと）い』を築く： 学生と現場のストローク

座長：阿部 拓也（新潟医療福祉大学）
黒田 和希（公立藤田総合病院）

学生パネラー：須藤 愛加（新潟大学医学部保健学科検査技術科学専攻）
小川 詩織（新潟医療福祉大学医療技術学部臨床技術学科）
澤枝 優衣（北海道大学医学部保健学科）
齊藤 遥斗（日本医療大学保健医療学部臨床検査学科）

若手臨床検査技師パネラー：松尾 卓（太田西ノ内病院）
星野 有香（長岡赤十字病院）
島田 悠弥（新潟県労働衛生医学協会）
小林 加奈（江東微生物研究所）

本フォーラム「臨床検査技師の『基（もと）い』を築く：学生と現場のストローク」では、学生パネリスト4名と若手臨床検査技師4名が登壇します。学生は講義や実習を通じて感じた疑問や将来への不安を、若手技師は学生時代に抱いていた期待と現場で感じたギャップ、現在のやりがいや目標をそれぞれ発表します。会場参加者はリアルタイムアンケートを通じて討論に参加し、学生と現場の技師が双方向に意見を交わす場となります。本フォーラムを通して相互理解を深め、互いの立場から「臨床検査技師としての基」を見つめ直すことで、将来への展望や仕事のやりがいを再確認する機会となることを期待しています。